



【薬剤師編】

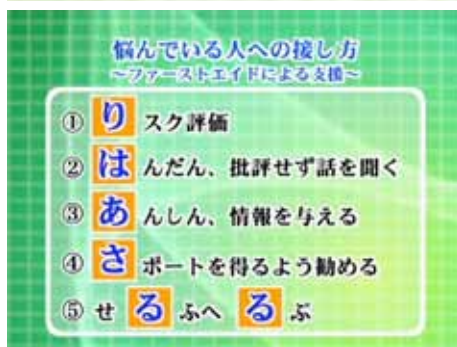
■ 良い対応

会社員の高野さん。配置替え後の慣れない人間関係や、不慣れな仕事への戸惑いから、業績が落ちこみ、上司に指摘される日々。自責的となり、意欲がない、食べられない、眠れない、だるい、という状態が続きます。

糖尿病の高野さん、この日は定期受診後、内服薬を受け取るため、処方箋を持って薬局を訪ねました。

男 性：

(薬局の入り口を入る。そして、受付にいる薬剤師に処方箋を出す)



薬剤師： こんにちは。高野さんですね。

男 性： はい、そうです（元気がなく返事をする）

薬剤師： お薬手帳はお持ちですか？

男 性： はい。お願いします。

薬剤師： では、お薬と一緒に、お薬手帳にも記載しておきますね。

男 性： ありがとうございます。

薬剤師： （お薬手帳を見ながら）今回も、前回と同じお薬が出ていますね。

男 性： はい。

薬剤師： それでは、できましたらお呼びしますので、そちらにお掛けになってお待ちください。

男 性： （思いつめた様子で待合の椅子に座る。ため息をつき、元気がない様子。）

薬剤師： （薬を持ってくる）高野さん、お待たせしました。

男 性： （受付に行く）

薬剤師： （処方箋を確認しながら、名前を確認し、お薬を出す） 高野さんですね。

男 性： はい。

薬剤師： 今日も前回と同じように糖尿病の内服薬が出されていました。
お薬について何か先生から説明はありましたか。



男 性：ええ、ありました。いつもと同じだと。

薬剤師：はい。毎日、1日1回、朝食前に1錠服用ですね。

男 性：はい、そういう風に話されました。

薬剤師：では、お薬のことについて、何か心配なことや不安なことは
ありませんか。



男 性：はい（元気がない）。
あ…大丈夫です…

薬剤師：何かご心配ごと、あり
ますか？

男 性：いえ、特に。でも…。
（悩んでいる様子）



薬剤師：どうされました？何かお悩みとか？

男 性：いえ…でも最近眠れなくて…眠れるようになる薬ってあるん
ですか？

薬剤師：眠れないんですか？

男 性：ええ、

薬剤師：それは、いつごろからですか？

男 性：ここ最近特にひどくて…眠れなくて辛いんです。

薬剤師：それは辛いですね。

男 性：辛くて、生きているのがいやになって…。

薬剤師：そうでしたか。何かあったんですか？

男 性：職場が変わってから、仕事に慣れなくてね、ダメなんだよ
ね、俺みたいなのは…

薬剤師：（うなづきながら傾聴している）

男 性：もともと事務職だったんだけど、営業にでることになって、
どうもうまいかないんだよね。
業績も上がらないし、上司にも怒られるし…（ため息をつ
く）



薬剤師：それは、お辛いんですね。

男性：そうなんだよ。でも、家族もいるから、稼がないとね。
頑張らなきゃいけないって思っているんだけど疲れやすくて
どうにもならないんだ。
職場にも家族にも迷惑かけられないし、いつそ死んでしまっ
たら楽だと思って…



薬剤師：死のうと考えるくらい
お辛いんですね。

男性：ああ、パタッと死ねたら
どんなに楽かと…

薬剤師：そうでしたか…
高野さん、実際にそう
しようとお考えになっ
たことはあるんですか？



男性：いや、そこまではないけど…
でも実際このままじゃどうにかなるか、自分でも生きる自信
がないんだよ。

薬剤師：だいぶおつらい状況なんですね。

男性：そうなんだ…

薬剤師：ほかに、具合が悪いところはありますか？だいぶ元気がな
いように見えますが…



男性：ええ、食欲がなくてね…
かかりつけの先生にはいつも食べ過ぎはよくないといわれる
んだけど、最近は全然食べられなくて…

薬剤師：そうでしたか。気分のほうはどうですか。

男性：とても明るい気持ちにはなれないんだよね。
職場の皆は元気にやっているけど、自分はとてもそんな気持
ちになれなくて…
同僚ともうまく付き合えず、落ち込んでしまうし…
夜になっても仕事のことが頭から離れなくてさあ…それでお
酒飲んで寝るんだけど、それでも寝付けられないし、寝たとして
も途中で起きちゃうんだよね。



薬剤師：それでお辛いんですね。

男性：そうなんだよ…



薬剤師：私も、今日高野さんが薬局に入ってきてからずっと辛そうだったんで心配だったんです。

男性：そうだったんだ。

薬剤師：ええ、そうだったんです。お話してくださってありがとうございます。

今の高野さんのお話を伺って、先生に相談した方がよいと思います。先ほどの受診の時に、先生に相談されましたか？

男性：はあ…

薬剤師：気持ちが落ち込んでいたり、眠れなかったり、というのは、身体に現れているものですから、少し心配な兆候なんですよ。

男性：いや、特に病院では話したりしないね。自分の悩みだから、病院で話すものじゃないだろ。糖尿病とは関係ないし…

薬剤師：話すところでないと思われたかもしれませんが、かかりつけの先生でも、今の気分や体調について相談にのってくれと思いますよ。

男性：そうかなあ。

薬剤師：最近はメンタル的な事も、かかりつけの先生が診てくれるようです。いろいろと症状を聞いたうえで、調べて、薬を出してくれたり、専門の先生を紹介してくれたり…

男性：そうなんだ

薬剤師：高野さんのところの先生も親身になって聞いてくれているようですよ。

男性：そうか、先生に相談しても大丈夫だったんだあ…でも、もう今回は診察が終わってしまったし…次は、1か月後だし…



薬剤師：そうでしたか。では、私のほうで病院に連絡をしてみましようか？

男性：はい。お願いできるんですか？

薬剤師：大丈夫ですよ。今、高野さんから伺った話をお伝えて、また診察してもらえよう連絡してみますね。



男性：ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

薬剤師：わかりました。

(薬剤師から病院へ電話)

看護師：はい、笹塚医院です。どうされましたか。

薬剤師：ハート薬局です。患者さんの高野さんのことでご相談なんです。

看護師：はい、先ほど受診された方ですよ。

薬剤師：こちらに、処方箋を持ってこられまして、元気がなく、どうも追いつめられているようで、気持ちの落ち込みが続くとか、眠れないなどの訴えもあり、うつの兆候ではないかと思って連絡しました。

看護師：そうだったんですか。少し、普段より元気がないなと思っていました。

薬剤師：ええ、それでこちらでも、いなくなりたいとか、眠れない、食べられないとか、そのようなことを話しておられました。

どうも、お仕事も配置換えから大変になっておられるようです。

それで、お忙しいところ申し訳ないんですが、高野さんの診察を、もう一度してもらえないかと思ってご連絡しました。

看護師：だいぶお辛い状態なんですね。わかりました。先生に話してみますね。

そのままお待ちください。(受話器を手で押さえて)

看護師：先生、高野さんなんですが、薬局から連絡があり、どうも、眠れないとか、食べられない、気持ちが落ち込むという感じで、いなくなりたいとお話しされているようなんです。うつなんじゃないかということでした。

医師：そうでしたか。少し元気がないと思っていましたが、そこまでだったとは。



看護師：そうですね。先生、電話かわってもらってもいいですか。

医師：はい、もちろんです。

(医師が受話器をとる)

医師：お電話かわりました。どうも高野さん、落ち込んでいるようですね。

薬剤師：そうなんです。職場の配置換えから落ち込まれたようで、眠れないとか、食べられない、いなくなりたい、とおっしゃっています。

今、薬局におられますが、こうした点も踏まえて診察を早めにお願ひできないでしょうか。

医師：わかりました。それでは午後の時間に、もう一度来ていただくようにお伝えてしてもらってよろしいですか。

薬剤師：わかりました。私のほうからお伝えしておきます。

医師：こちらでも受診の際にお話を聴いてみて、対応させていただきます。

薬剤師：安心しました。ありがとうございます。

薬剤師：高野さん、今、先生にお話ししたら、調子が悪いようだから来られるようだったら、午後に来られますか、ということでした。行けそうですか。

男性：はい、行けます。

薬剤師：では、病院の方には、私から連絡しておきますね。

男性：ありがとうございます。

薬剤師：では、薬のことで何か心配なことがありましたら、いつでも連絡してください。

男性：わかりました。

薬剤師：それと、よく言われていることなんですが、眠れないときとか気持ちが落ち込んでいるときとか、お酒は飲まないほうが良ですよ。

無理のないよう生活していただくのが良いと思いますので、病院で先生に相談してみてください。

男性：はい、ありがとうございます。相談してみます。



